

第 14 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞） 受賞団体の概要

・ 富山県

交流先	<small>りょうねいしやう</small> 遼寧省（中華人民共和国）
姉妹（友好）都市提携年月日	昭和 59 年 5 月 9 日
取組概要	別紙 1 参照

・ 京都市

交流先	ボストン市（アメリカ合衆国）
姉妹（友好）都市提携年月日	昭和 34 年 6 月 24 日
取組概要	別紙 2 参照

・ さつませんだいし
薩摩川内市（鹿児島県）

交流先	<small>じやうじゆくし</small> 常熟市（中華人民共和国）、 <small>しやうねいぐん</small> 昌寧郡（大韓民国）
姉妹（友好）都市提携年月日	平成 3 年 7 月 26 日（常熟市）、 平成 24 年 5 月 16 日（昌寧郡）
取組概要	別紙 3 参照

(参考) 各団体の位置

○富山県



○^{りょうねいしやう}遼寧省 (中華人民共和国)



○京都市



○ボストン市 (アメリカ合衆国)



○^{さつませんだい}薩摩川内市 (鹿児島県)



○^{じやうじゆくし}常熟市 (中華人民共和国)



○ しょうねいぐん 昌寧郡 (大韓民国)



第14回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の受賞団体の取組について（富山県）

交流先：遼寧省（中華人民共和国）

（1）交流の経緯

- 富山県は日中国交正常化に尽力した故松村謙三氏の故郷で中国との交流に力を入れている。
- 1979年の相互訪問をきっかけに富山県・遼寧省は密接な交流を続け、1982年、「青年の船」（団長：富山県知事）の遼寧省訪問時に友好県省の締結が提案され、1984年、遼寧省訪問団（団長：全樹仁（ぜんじゅじん）省長（故人））が富山県を訪問し、友好県省が締結された。

（2）取組の概要

- 友好提携以降、35年以上に渡って、訪問団の相互派遣や、職員・留学生・技術研修員の派遣・受入れ、環境・スポーツ・文化・教育・観光等幅広い分野にわたる交流を行っている。
- 2018年、富山県訪問団（団長：県知事）が遼寧省を訪問し、経済・貿易や観光、文化などの交流推進を内容とする「交流と協力の深化に関する覚書」を締結した。
- また「日中青少年交流推進年」にあたる2019年には、青少年の交流団を相互に派遣、交流を促進した。
- 2004年、中国で「富山ファン倶楽部」が設立され、会員数は遼寧省在住者を中心に400名を超えている。また、友好提携35年にあたる令和元年には富山県で「遼寧ファン倶楽部」の設立が発表されるなど、更なる相互理解と友好関係の促進を図っている。



富山県と遼寧省との交流と協力の深化に関する覚書締結



富山ファン倶楽部
富山県里帰りツアー

第14回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の受賞団体の取組について（京都市）

交流先：ボストン市（アメリカ合衆国）

（1）交流の経緯

- 1959年、京都市長がボストン市を訪問し、姉妹都市提携を締結。
- 以降、京都市が寄贈した京町家がボストン子ども博物館内に展示されるなど、文化・教育等の幅広い分野において長年にわたり市民間交流を深めてきた。

（2）取組の概要

- 2019年に姉妹都市提携60周年の大きな節目を迎えたことを契機に、記念事業を実施。
- 実施にあたっては、姉妹都市間・日米間での「人材交流」を大きなテーマとして掲げ両市において1年間を通じて「① 文化交流等を通じたグローバル人材の育成」と「② ライフサイエンスをはじめとする経済交流」を柱とする記念事業を展開。
- ボストン子ども博物館が当該周年事業のために特別にデザインした記念ロゴマークの活用を通して、30以上の団体・企業・学校が主体的に活動に参加した。
- 従来から進められてきた交流分野が一層深まるとともに、新たな分野へと交流の幅が広がり、現代にあわせた形で両市にとって未来志向の交流を進めた。



ボストン子ども博物館での陶芸ワークショップ



記念ロゴマーク



ボストン市庁舎での再調印式



京都でライフサイエンス分野の会議を開催

第14回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の受賞団体の取組について（鹿児島県薩摩川内市）

交流先：常熟市（中華人民共和国）、昌寧郡（大韓民国）

（1）交流の経緯

- 1980年、西日本地区の港湾都市の首長からなる視察団が、中国の港湾事情を調査するために中国を訪問。参加者の発案により、中国の港湾都市との友好都市協定の締結を目指す。国際貿易港として整備されていること、面積及び人口規模が同程度であること、経済的に豊かな都市であることを理由に、常熟市を選出。
- 1999年、日韓親善協会、昌寧郡等韓国親善訪問団が川内大綱引400年祭に参加したことをきっかけに、両自治体の綱引保存会の相互交流が始まった。

（2）取組の概要

- 常熟市とは1991年に友好提携を締結。重要港湾「川内港」を利用した貿易交流による地域経済の活性化を図っているほか、中国のホストタウンとして登録を受け、選手との交流を主軸とした交流も行っている。
- 昌寧郡とは2012年に友好提携を締結。双方に共通した綱引き文化を通じた独自性の高い文化交流を実施しているほか、両自治体の共通点である温泉、観光、ラムサール登録湿地、農業等を活かした交流を行っている。



常熟市貿易調査団の川内港視察



昌寧郡公式団・霊山綱引保存会の川内大綱引視察